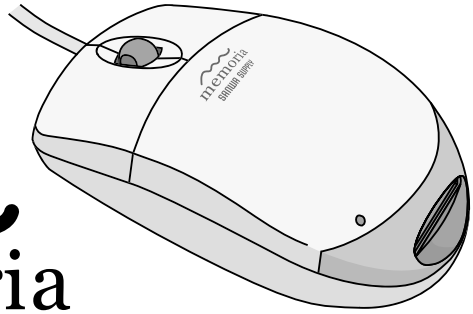
SANWA SUPPLY

メモリースティックマウス取扱説明書

Opt



memoria

最初にご確認ください。

セット内容

- ●マウス本体 …… 1台
- ●ドライバディスク(3.5"FD) …… 1枚
- ●取扱説明書 …… 1部

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

サンワサプライ株式会社

目　次

2 ●はじめに
●警告
●マウスの接続
・対応機種
●接続する前に必ずお読みください。
・本製品をUSBポート接続する際の注意
・ポインティングデバイス内蔵ノートパソコンでのご使用の際
・BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合

3 ●ハードウェアのインストール
・マウスの接続

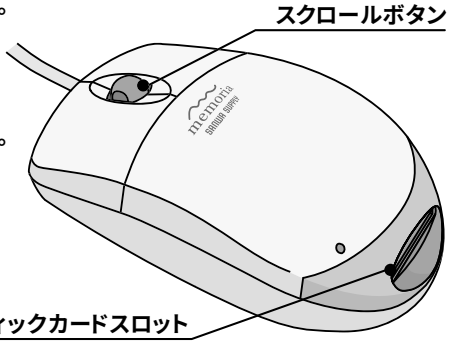
5 ●ハードウェア/ソフトウェアのインストール
・Windows Me/98SE/98の場合
・Windows 2000の場合

10 ●マウスを使用する
・マイコンピュータを開く
・メモリースティックカードを挿入する
・各部の名称
・左ボタン・右ボタン

11 ●スクロールボタンの使用方法
・スクロール
・オートパンニング(オートスクロール)
・ズーム

はじめに

このたびは、メモリースティックマウスをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は、メモリースティックリーダー/ライター内蔵のUSBマウスで、お使いのデジカメやデジタルビデオカメラで記録したメモリースティック内のデータを簡単に読み書きすることができます。
本製品は、ボールを使わないオプティカル方式（光学式）のマウスで、通常の使い方にプラスして、ひざの上などでも操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮することができます。ボールを使わないので、チリやホコリがたまってボールの動きがスムーズでないといったことがない、メンテナンスフリー構造になっています。



警　告

■テレビ/ラジオの受信障害について
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。
ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。
ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。
●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
●状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。
■注　意
本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

マウスの接続

■対応機種

本製品には、下記のハードウェア、またはソフトウェア以上のものをご使用ください。
●各社DOS/Vパソコン（CPUはペンティアム以上）
●USBポートを持つ機種
●対応OS:WindowsMe、Windows98SE/98及びWindows2000

接続する前に必ずお読みください。

■本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindowsMe等において自動認識され使用可能となります。もし、本製品が正常に動作しない場合、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。
「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。

これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。
USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

接続する前に必ずお読みください。(続き)

■ポインティングデバイス内蔵ノートパソコンでのご使用の際

パソコン本体の内蔵ポインティングデバイスを使わないように設定してください。
代表的な設定の例を下記にて説明しますが、詳細につきましては、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

例) タッチパッドユーティリティ(Alps Glide point, NX PAD, Synaptics Touch Pad)の場合(SONY VAIOノート, NEC PC98-NXノートなど)

①「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャー」→「マウス」→「Glidepoint※」のプロパティを開く。

②「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンを押す。

③そのまま進み、「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し次へ進む。

④「デバイスドライバの更新ウィザード」が立ち上がったら「すべてのハードウェアを表示」を選択する。

⑤製造元「Microsoft」、モデルを「Microsoft PS/2 Port Mouse」もしくは「標準PS/2ポートマウス」を選択する。

⑥完了後、再起動します。

⑦外付けマウスを手順通りインストールしてください。

※「マウスウェア」を内蔵している場合は、アプリケーションの追加と削除で「マウスウェア」 を削除し、内蔵ポインティングデバイスが「標準PS/2マウス」ドライバで作動している状態で、インストール作業を始めてください。

■BIOS上でUSBがdisableディセーブル(無効)になっている場合

●BIOS上のUSBをenableイネーブル(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

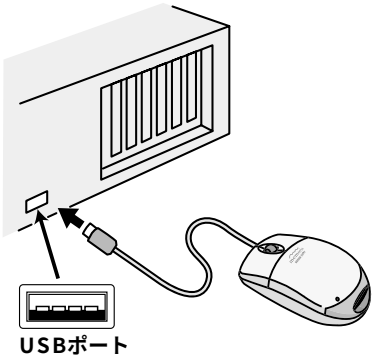
ハードウェアのインストール

※注意：インストール前に他のアプリケーション等を外しておくことをお薦めします。

■マウスの接続

1.コンピュータの電源を入れ、
Windowsを完全に起動させます。

2.本製品をコンピュータのUSBポートに
接続します。



USBポート
(USBコネクタ(Aタイプ))

詳細な設定については、後ほど説明します。接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。

※マウスをパソコンに接続した際、またはパソコンを立ち上げた際、マウス裏面のLEDが3回発光しますので、その間はマウスを動かさないでください。

ハードウェア/ソフトウェアのインストール

①コンピュータの電源を入れ、Windows　Me等を起動させ、付属のドライバディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。
②本製品を、コンピュータのUSBポートに接続します。
③自動的にハードウェアの検知が始まり、デスクドライバを更新するためのウィザードが起動します。
④あとは、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

■Windows Me/98SE/98の場合 (Windows2000については8ページを参照)
新しいハードウェアの追加ウィザード

●次の新しいドライバを検索しています。
USB互換デバイス------- 次へ〉

●検索方法を選択してください。
⦿使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨） ------- 次へ〉

●新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(☑)を入れずに ------- 次へ〉

●次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USB互換デバイス ------- 次へ〉

●USB互換デバイス------- 完了

ハードウェア/ソフトウェアのインストール (続き)

●次の新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス-
------ 次へ〉

●検索方法を選択してください。
⊙使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨） ------- 次へ〉

●新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(☑)を入れずに ------- 次へ〉

●次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス------- 次へ〉

●USBヒューマンインターフェイスデバイス------- 完了

ハードウェア/ソフトウェアのインストール (続き)

●次の新しいドライバを検索しています。
USB Mouse with Memory Card Reader/Writer------- 次へ〉

●検索方法を選択してください。
⦿使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨） ------- 次へ〉

画面 A

●新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。フロッピーディスクドライブに添付のドライバディスクを挿入し、
□検索場所の指定(L)にチェックマーク(☑)を入れ、
Windows98SE/98の場合
A:\Win98SE
WindowsMeの場合
A:\WinMe ------- 次へ〉
(フロッピーディスクドライブがA:の場合)

●次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USB Memory Storage Port Driver ------- 次へ〉

●USB Mouse with Memory Card Reader/Writer ------- 完了

ハードウェア/ソフトウェアのインストール（続き）

●次の新しいドライバを検索しています。
不明なデバイス------- 次へ〉

●検索方法を選択してください。
⦿使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨） ------- 次へ〉

画面 A

●新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。フロッピーディスクドライブに添付のドライバディスクを挿入し、
□検索場所の指定(L)にチェックマーク(☑)を入れ、
Windows98SE/98の場合
A:\Win98SE
WindowsMeの場合
A:\WinMe ------- 次へ〉
(フロッピーディスクドライブがA:の場合)

●次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USB Memory Storage Port Driver
------- 次へ〉

●USB Mouse with Memory Card
不明なデバイス ------- 完了

ハードウェア/ソフトウェアのインストール(Windows２０００の場合)

■Windows ２０００の場合

USBコネクタを挿すと自動的に一通りOSののドライバがインストールされ、マウスは動作するようになりますが、このままではメモリースティックのR/W機能は動作しませ

●自動的なインストールが全て終了したら、マイコンピュータのデバイスマネージャを開いてください。

●「USB　大容量記憶装置デバイス」のプロパティを選択します。

●ドライバの更新(P)をクリックします。

●デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始------- 次へ〉

ハードウェア/ソフトウェアのインストール(Windows2000の場合)(続き)

●ハードウェアデバイスドライバのインストール
⦿デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)------- 次へ〉

●ドライバファイルの特定
☑フロッピーディスクドライブ(D)を選択してください。------- 次へ〉

●ドライバファイルの検索
ドライバの検索が終了したら、インストールを開始します。------- 次へ〉

●デバイスドライバのアップグレード
ウィザードの完了------- 次へ〉

●デバイスマネージャの「USB 大容量記憶装置デバイス」だった部分が「Mitsumi Memorystick Mouse」になっていればOKです。

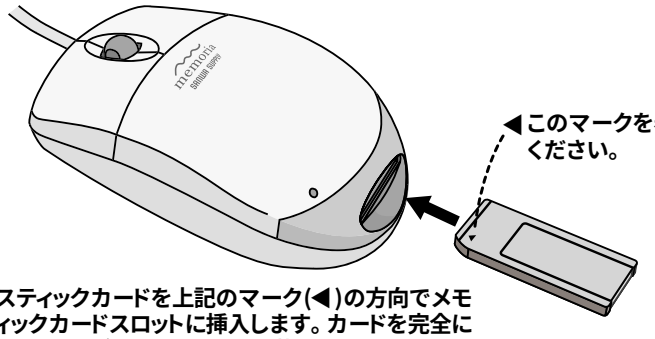
マウスを使用する

■マイコンピュータを開く

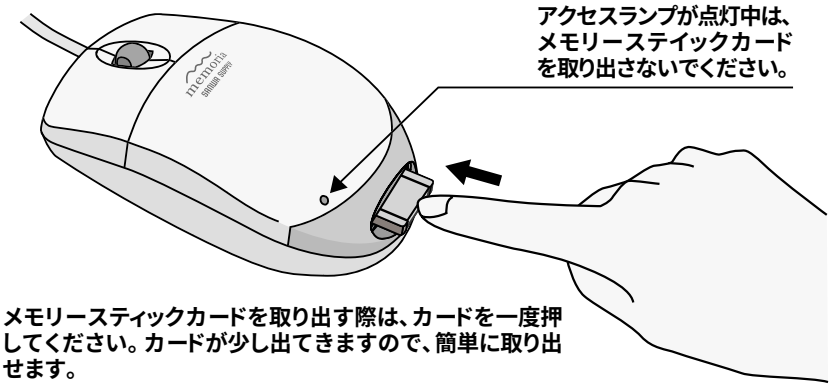
マイコンピュータを開いて、実際に使用できるか試してみます。

リムーバブルディスク(E:)が追加されていれば、いつでもこのメモリースティックマウスでメモリースティック内のデータの読み書きが行えます。
※パソコンによりリムーバブルディスクがEドライブでない場合もあります。

■メモリースティックカードを挿入する



メモリースティックカードを上記のマーク(◀)の方向でメモリースティックカードスロットに挿入します。カードを完全に挿入すると、ロックがかかってカードは抜けなくなります。



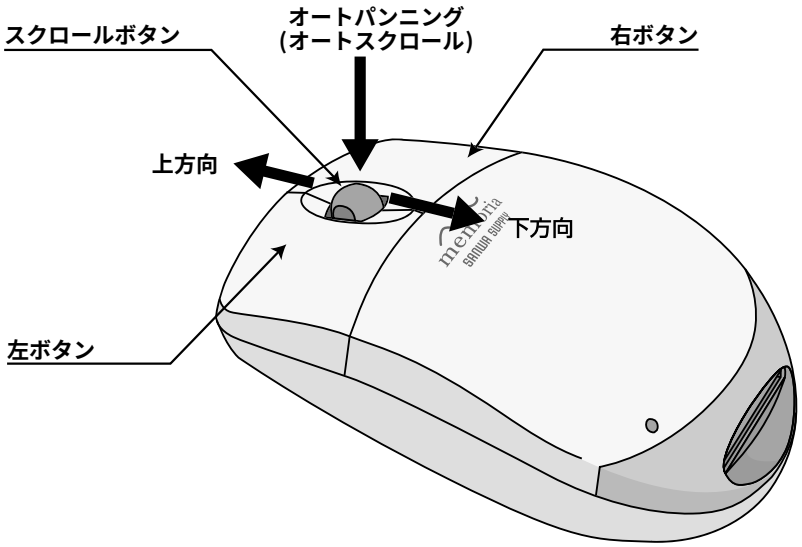
メモリースティックカードを取り出す際は、カードを一度押してください。カードが少し出てきますので、簡単に取り出せます。

＜注意＞
書き込み、削除などを行ったとき、アクセスランプの点灯は一度終了し、すべての作業は終了したように見えますが、それから１０秒前後(場合によっては１５秒以上)経つとわずかに点灯します。
これは最終処理のサインですので、この点灯を待たずにメディアを抜くとエラーになります。ご注意ください。

マウスを使用する (続き)

■各部の名称

本製品にはスクロールボタンが付いており、マウスから直接、画面スクロールすることができます。また、Microsoft IntelliMouse機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、オートパンニング(オートスクロール)、ズームなどの機能が使えます。



■左ボタン・右ボタン

左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また、右ボタンはWindows 98/95でのアプリケーションごとに設定されているマウスの働きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。
左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中の「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

スクロールボタンの使用方法

■スクロール

スクロールボタンを前方、または後方に倒すことで簡単に画面スクロールができます。

■オートパンニング(オートスクロール)

これは、初めに少しスクロールするだけで、後は自動的にスクロールを続けてくれるという機能です。例えば、ホイールボタンを押し、マウスを手前に動かして少しスクロールするとそのままずっとスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

■ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。コントロールキーを押しながらスクロールボタンを前後に倒すことで、ズームが簡単に行えます。
●「Ctrl」キーを押しながらスクロールボタンをモニター方向に倒すと、倍率が上がります。
●「Ctrl」キーを押しながらスクロールボタンを手前方向に倒すと、倍率が下がります。